

市政記者各位

少雨傾向により筑後川水系ダム貯水率低下

福岡県南広域水道企業団が渇水対策本部を設置

昨年8月以降の少雨傾向による筑後川水系ダムの貯水率低下に伴い、2月16日に国等による第2次渇水調整が行われる見通しとなったことを踏まえ、当企業団では下記のとおり渇水対策本部を設置し、関係機関と十分協議しながら渇水対策を進めてまいります。

筑後川流域では、昨年8月以降、月間降水量が平年値を下回る月が6ヶ月連続で続いており、令和5年9月～6年1月までの5ヶ月間合計で220.1mm（平年値517.1mm）、平年の約4割の降水量にとどまっています。筑後川流域では、河川流量の低下に伴い10月下旬頃からダム放流が断続的に行われており、ダム全体の貯水率は減少の一途をたどっています。令和6年2月14日時点の主要6ダムの合計貯水量は33.7%まで落ち込み、今後も少雨が続いた場合は、ダム貯水率のさらなる低下に伴い、筑後川から水道原水が安定的に取水できなくなるおそれもあります。

- 1 設置日時** 令和6年2月16日（金） 17時
- 2 本部長** 福岡県南広域水道企業団企業長 甲斐田 忠之
- 3 設置場所** 福岡県南広域水道企業団 3階事務室
- 4 渇水対策本部における対応**

- (1) 国・県等の関係機関との連絡調整
- (2) 水源等に関する情報収集
- (3) 構成団体への情報提供
- (4) 節水の呼びかけ及びPR

※ 福岡県南広域水道企業団の構成団体 8市3町1企業団（9市4町）
久留米市・大川市・筑後市・柳川市・大牟田市・八女市・朝倉市・みやま市
大木町・広川町・筑前町・三井水道企業団（小郡市・久留米市北野町・大刀洗町）

※ 主要6ダム：江川ダム、寺内ダム、小石原川ダム、筑後大堰、合所ダム、大山ダム

【問合せ先】

福岡県南広域水道企業団
企画財政課長 西岡隆之
久留米市荒木町白口55番地
(TEL) 0942-27-1561